

疾患名

難治性ネフローゼ症候群

病気について

ネフローゼ症候群とは、尿に蛋白がたくさん出ることにより、血液中の蛋白が減り（低蛋白血症）、その結果、むくみ（浮腫）や脂質異常が起こる病気です。副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬などを使った積極的な治療を一定期間（6ヶ月または4ヶ月以上）行っても、十分に尿中の蛋白が減らないものを難治性とします。

治療について

むくみを改善するために、食事での塩分制限や利尿薬が使われます。また、高血圧や脂質異常に対する治療も同時に行われます。積極的な薬剤による治療としては、副腎皮質ステロイド薬、免疫抑制薬などがあります。

アフェレシス療法の適用とその実施

保険適用：あり（巣状分節性糸球体硬化症が原因の場合）

アフェレシス治療の種類：LDLアフェレシス

回数：保険適用となっているのは、薬剤による治療ではネフローゼ状態が持続し、血清コレステロール値が250 mg/dL以下に下がらない場合です。実施回数は、一連につき3ヶ月間に12回を限度として施行します。